



嵐山花灯路 (撮影 井坂公一会員)

会長 完賀 浩光 幹事 栗野 哲雄

- 例会場 L'AUBE kasumigaura
TEL.029-875-8888
- 例会日時 火曜日 12:30～13:30
- 事務局 土浦市真鍋1-2-6 金塚ビル3F
TEL 029-823-4524 FAX 029-869-9006
- ホームページ <http://tsuchiura-south-rc.com>
- Eメール t_minami@lapis.plala.or.jp

2024～2025年度
国際ロータリーテーマ



2024年11月26日 16号
2024年11月19日 第2例会報告



地区 HP



地区行事予定

- | | | | |
|--------------------------------|---------|------------------------|-------------------|
| 1. 点 鐘 | 完賀浩光会長 | 8. 来賓卓話 | |
| 2. ロータリーソング斉唱
(奉仕の理想) | | ヒスターズナウ・つくば「レモネードスタンド」 | 照井美穂様, 平沼美里様 |
| 3. ご来訪者紹介 | | 9. 出席状況報告 | 出席委員会 |
| 4. 幹事報告 | | 10. 点 鐘 | 完賀浩光会長 |
| 5. 今月お誕生日の会員及び配偶者,
結婚記念日の紹介 | 親睦活動委員会 | | (司会進行 吉田正一 S A A) |
| 6. 委員会報告 | | | |
| 7. ニコニコBOXの発表 | | | |

本日のプログラム

財団月間に因み、ロータリー財団委員会ロータリーカード推進委員長 端敦宣様(下妻RC)により「出前卓話」でございます。

次週のプログラム

12月3日(火)の例会は、年次総会を行います。

出席状況

会員数	出席数	出席免除	出席率	全員出席卓	3名以上欠席卓	メイクアップ	出席率訂正
名	名	名	%	卓	卓	名	%
89	62	6	71.26	10	5・7・12	13	86.21

【委員会報告】

ロータリー財団委員会

海老原 一郎 委員長

本日レターボックスに、ポリオ・プラス・ソサエティー（PPS）の申込書を配布させて頂きました。ポリオ根絶のため、毎年100ドルを寄付するプログラムです。多くの方に入会して頂きたいと思います。入会申込書は事務局の池田さんに提出して下さい。

60周年実行委員会

説田 賢哉 総務委員長

11月19日(火)例会終了後の記念誌検討委員会及び12月3日(火)18:00から実行委員会を開催しますので、関係者の皆さん宜しくお願い致します。

米山記念奨学生についての報告

杉田 一男 カウンセラー

奨学生のニカくん就職について頂いたメールから報告します。

こんにちは！

テスラ（エネルギーシステムサポートエンジニア）から仕事のオファーを受け、テスラのバッテリーシステムチームに配属されることになりました。私の勤務地はカリフォルニア（サンフランシスコエリア）かテキサス（オースティン）のどちらかになりますが、まだ決まっていません。勤務地は決まり次第お知らせします。

日本滞在中に様々な経験を与えて頂き、日本で素晴らしい時間を過ごせたことに感謝します！ 本当にありがとうございました！ アレックス

【来賓卓話】

小児がん支援活動の報告

ヒスターズナウ・つくば「レモネードスタンド」

照井 美穂 様

平沼 美里 様

私は、つくば地域で小児がんと向き合う家族の経験を通じ、子どもたちの健康と希望を支える活動に取り組んでいます。特に、レモネードスタンド活動では、小学生から大学生までが主体となり、自らレモネードを販売し、その収益を医療支援に役立てています。これまでに約380人の子どもたちが参加し、多くが将来医療や福祉の分野を目指すきっかけとなっています。また、筑波メディカルセンター病院や筑波大学附属病院と連携し、地域全体で小児がんと闘う子どもたちを応援する活動を展開しています。

私たちの目的は、単なる支援を超えて、子どもたちに希望と勇気を届けることです。小さな活動が、大きな変化につながると信じています。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



代表 照井美穂
つくばで生まれて43年
地元大好きつくばっこ

18歳、大学進学で神奈川県に移住
 * 大学では栄養学を専攻
 * 中高教員免許(家庭科)取得
 * 管理栄養士免許取得
 * 卒業後は助手として勤務
 * 専門は公衆衛生学(食品衛生・環境保健)
 「小児における環境発がん物質曝露評価」
 「悪性中皮腫に対する発がん抑制効果」

31歳、結婚を機にリターン
 * 国立環境研究所で研究員、つくば市内保育園の給食管理責任者、高校の家庭科非常勤講師、栄養士養成大学で非常勤講師を務める




2020年
3月31日

**突然の余命宣告
2年生存率0%**

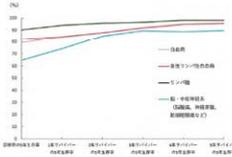
病名：小児脳幹部グリオーマ
(びまん性正中グリオーマ・DIPG)

- 日本では年間50~60名発症 (米国は約300例)
- 3~10歳が多い
- 1年生存率50%
- 平均余命10ヶ月
- 世界標準治療は放射線治療のみ



小児がんについて

小児がん治療率80%以上
小児がん = 治る病気

国立がん研究センター がん対策情報センター
http://gan.jp/gan/ganpopinfo/seihin/ganjinpopo.html

小児がんについて

小児がん治療率80%以上
生存率が上がったからこそ...

日本では年間約2500人が発症
 長期の入院治療が必要、治療率80%以上
 ◆症状が出にくい ◆早期発見が難しい
 ◆がんの進行が早い という特徴がある

年間約500人が空に旅立っている

再発・二次がん・晩期合併症

成長期の身体に強い治療を行うため脳に影響を及ぼし、治療後数年以上経ってから成長や発達、生体機能の問題など出現する

がん治療を終えた子どもたちは...

- 再発
- 後遺症
- 二次がん
- 晩期合併症

*1 治療終了後、数か月ないし数年が経過してから現れる後遺症
 *2 治療終了後、数か月ないし数年が経過してから発生する再発ではないがん

01 背景

茨城県内の状況

小児がん拠点病院がない
 主に国立こども病院と筑波大学付属病院で治療を行うが、東京や千葉など県外に行くことも多い。

県内に小児がん支援団体がない
 県内にも、茨城県内にもない。全国組織「がんの子どもを守る会」にも「茨城支部」がない。

筑波大学付属病院は県外から治療にくる県外から転院してくる子どもと家族がいるが、院内に患者会もなく、頼れる場所がない。

茨城県内では新たにがんと診断されている人 **年間2万人以上**
 そのうち小児がんは**0.2%** (年間40~50人)
小児がんは数が少ないので(県内には)支援がない

全国には様々な支援があります

- 全国組織団体 公益財団法人 がんの子どもを守る会
- 入院中の家族へミールサポート NPO法人 キープ・ママ・スマイリング
- 家族滞在施設 公益財団法人 ドナルド・マクナルドハウス
- 子どもの夢を叶える 公益財団法人 メイク・ア・ウィッシュ
- こどもホスピス 認定NPO法人 横浜こどもホスピスプロジェクト
- ファシリティドック 認定NPO法人 シヤイン・オン・キッズ

支援の地域格差をなくしたい

数が少ないから「支援しない」
 ではなく
 数が少ないからこそ
地域のみんで「支援できる」

1. 家族交流会の定期開催

工作やクッキング、果物狩りなど楽しいイベントを開催する

- 楽しい笑顔の思い出をたくさん作る
- 顔見知りができるので話しやすい
- 「次の楽しみ」ができる
- 「元気になったらまた」と前向きになる



2. 家族参加イベント

- 親が情報交換できる場
- きょうだいがある場
- グリーンシェアの場



4. 病児の入院に24時間付き添う家族支援

コンビニ弁当しかなく野菜や果物不足で体調を崩しやすい

毎日のことで食費が心配 食費がなくなる

気にかけてくれる人がいる それだけで助まされます

可愛くて気持ち明るくなりました



5. 小児がん支援のためのレモネードスタンド
 当会の活動に参加した小学生から大学生まで延べ350人以上



6. がんと向き合う方へのエールイベント
 つくば駅から筑波メディカルセンター、筑波大学付属病院に向かって歩く

がんロコモウォーク

R4年度：参加者281名
 R5年度：参加者317名
 R6年度：2025年2月8日

R4,R5,R6,企画提案型がん対策推進事業



6. がん患者家族のためのつどいの場づくり



常設のがん患者支援カフェ 「レモンテラス」をオープン

- ① ご家族・遺族が気軽に足を運べる
- ② 気が向いたら声を掛けられる
- ③ 家族交流会に参加してみようと思う
- ④ 自分にも何かできると前向きになれる

がん応援カフェ

誰でも気軽に出入りできる
カフェにして収益を支援に



情報提供の場

がんの予防に関する情報
病院、医療関係の紹介



交流の場

茶話会やワークショップ
ピアサポートなど開催



就労支援

がん経験者やご家族が
就業に活動できる場を



11.19土浦南ロータリークラブ

茨城県が小児がんに優しい街になることを目指して…
ご清聴ありがとうございました

ヒスターズナウつくば
代表 照井美穂